



## PT 来校指導研修がありました

6月14日（金）に、旭川荘療育・医療センターリハビリテーション課の PT 久山美奈子先生 に来校していただき、自立活動の身体への取組に関するアドバイスをいただきました。アドバイスを参考にしながら、学校での教育活動を組み立てていきます。



### ★PT（理学療法士）の仕事★

寝返る、起き上がる、立ち上がる、歩くなどの日常生活を行う上で基本となる動作の改善を支援するリハビリの専門職です。理学療法士によるリハビリは医師の指示のもとで行われます。

## 【対象児童生徒：中学部男子】 歩行器（SRC ウォーカー）での取組



【教師からの相談内容】歩行器に取り組んでいるが、うまく足が前に出ない。足を動かそうとするが、自分で踏ん張って動かせない。

～久山先生より～

- ・股関節を伸ばすことが得意ではない生徒なので、事前に股関節のゆるめをしてから取り組むのもよい。
- ・支援者が手伝うところと、本人ががんばることを整理する。本生徒の場合は、①臀部②膝③かかとの3点を支えて自分で足が踏み込めるようにサポートするとよい。
- ・歩いて進む目的があるとよい。
- ・体を起こすような動き（例えば、高い位置の物に手を伸ばす）を取り入れると、手で体を支えられる、股関節を自然と伸ばすことができるなどのメリットがある。



### ★SRC ウォーカー★

自力での移動手段をもたない人でも、安定した前傾姿勢がとれ、足で地面を蹴ることで前進することができます。自発的な移動を促すことにより、学習や生活に対する意欲を高めます。

～久山先生からのアドバイス～

ねらいを整理して学習活動に取り組むと、さらに良い取組につながると思います。  
できたことはしっかりほめて、子どもの「またがんばりたい」という気持ちを育てましょう。



他にも緊張が強い児童生徒が自分で身体のゆるめをする方法や、箱椅子での座位姿勢を取るときのポイントなどを教えていただきました。また次号以降で紹介する予定です。